

● 球磨工業高校伝統建築コース  
加工組立室棟

KUMA HIGH SCHOOL  
OF INDUSTRY  
TRADITIONAL  
ARCHITECTURE  
WORKSHOP

緑に囲まれた球磨の美しい環境に、

既存の校舎に新しく

土木科、建築科、電気科、機械科の4科の実習棟を  
改築する計画。

このプロジェクトでは、

全体の基本計画まで行なっているが、

加工組立実習棟だけが、

くまもとアートポリス参加プロジェクトとして

位置づけられている。

Kumamoto Artpolis  
K・A・P  
くまもとアートポリス

**熊本県** くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木部建築課 〒862 熊本市水前寺6-10-1  
☎096・383・1111 (6220・6221)

計画にあたって、4つの科が

それぞれひとつの街としてのまとまりをもつと同時に、

それらを結び付け、

生活の中心となるような空間を

用意することが考えられた。



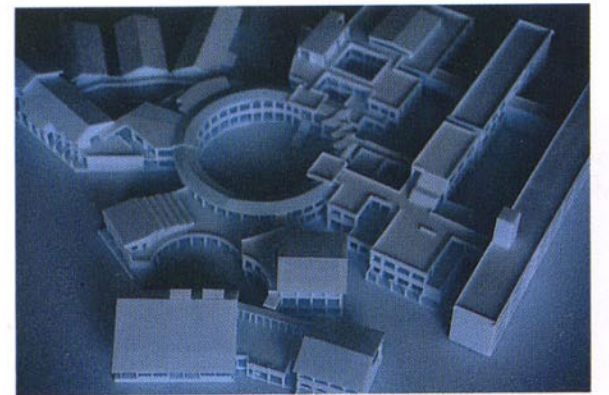
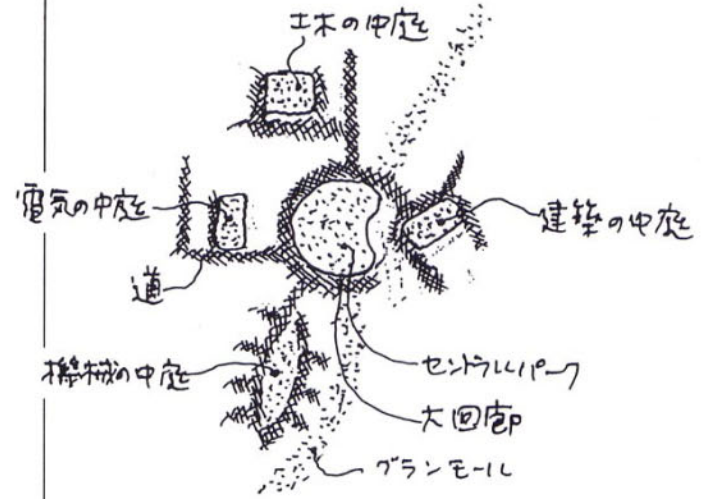


● 建築概要

全体の基本設計では、4つの街をイメージし、円形回廊・屋上テラスなどで全体を結んでいる。また、気候風土を生かし、豊かな緑と西風を利用し、快適な半外部空間を取り入れている。加工組立室棟は、伝統建築を学ぶということで、純木造とし、木造の大架構の面白さ、光の美しさを表し、新しい木造建築の一つとして提案されている。また、建物が教材となるようトラス梁はもちろんその他の構造材も内部から見えるようになっており、隣接する計画実習棟を含めて、さまざまな構造や、材料、仕上げが意図的に採用されている。

● 建築データ

名称/球磨工業高校伝統建築コース加工組立室棟  
 所在地/人吉市城本町800  
 主要用途/実習棟  
 事業主体/熊本県  
 設計者/象設計集団  
 施工者 建築/岩井工務店  
           電気/人吉電気工事  
           衛生/金剛設備工業  
 敷地面積/70,100㎡  
 建築面積/578㎡  
 延面積/560㎡  
 階数/地上2階  
 構造/木造  
 外部仕上 屋根/和瓦  
           外壁/堅羽目下見板張  
 施工期間/1990年10月-1991年3月  
 総工事費/113百万円



● 建築家プロフィール

十勝サーカス  
 象設計集団 (ぞう せっけいしゅうだん)

1971年 象設計集団設立  
 富田 玲子  
 1938年 東京生まれ  
 1963年 東京大学工学部建築学科大学院修了  
 樋口 裕康  
 1939年 静岡県生まれ  
 1965年 早稲田大学大学院理工学部研究科修了

● 主な作品

今帰仁村中央会館、名護市庁舎、埼玉県宮代町立笠原小学校、東京都小笠原支庁舎 ほか  
 1977年 芸術選奨文部大臣新人賞(美術部門)  
 1982年 日本建築学会賞  
 1990年 第一回日本デザイン大賞

